

電子カルテ改革から国民のための健康・医療情報基盤創成へ

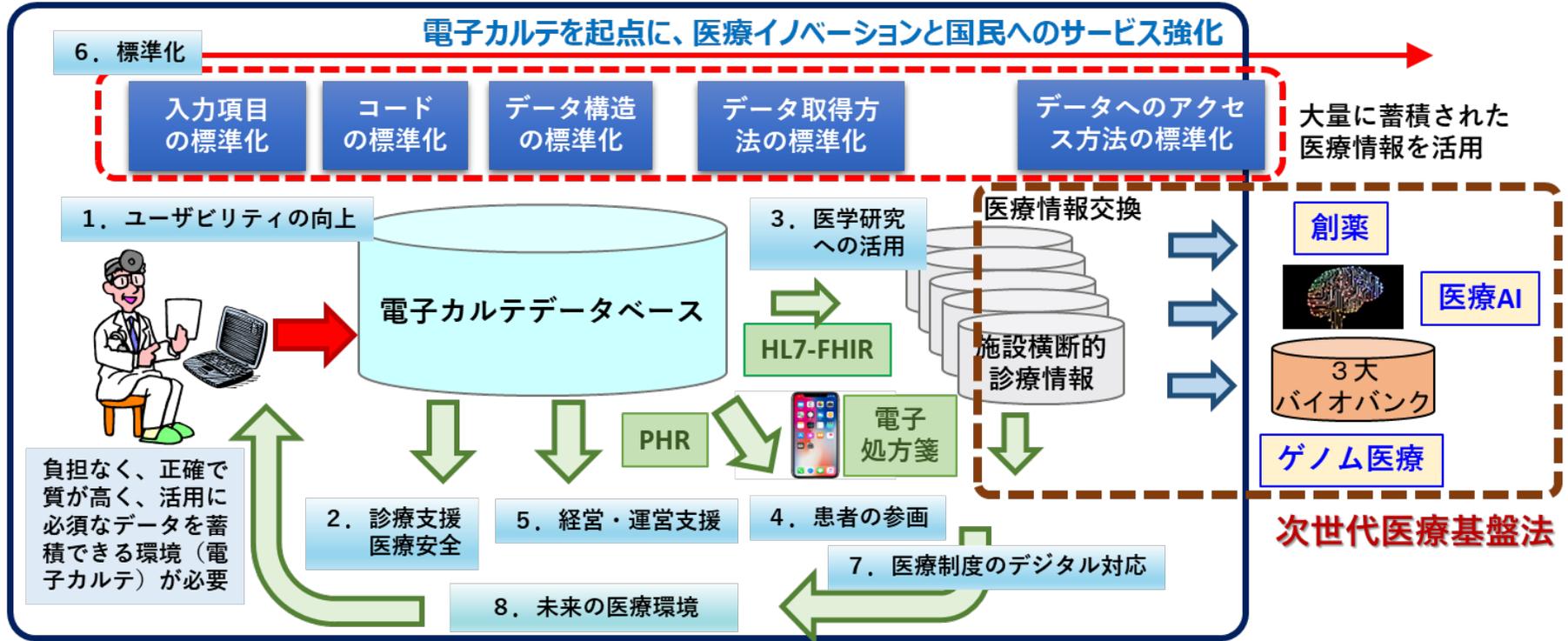
2022年3月29日

健康・医療戦略参与 笠貫 宏



電子カルテ改革から国民のための健康・医療情報基盤創成へ

医療現場の課題解決を通して、健康・医療情報基盤の課題解決へ



提言の骨子

- 質の高い診療情報の蓄積
働き方改革
電子カルテの普及促進
異業種の先進技術を電子カルテに
- 質の高い安全な診療
スムーズな診療
頼もしい相棒、有能な秘書としての電子カルテ
- 革新的医療の開発により国民に還元
負担なく研究に参加
国民が安心して診療情報を付託
日常診療の中で自然と研究データが溜まる
- 国民参加の医療の実現
健康管理やセルフケアの推進
安心できる医療情報の提供
個人単位での一元管理
- 診療業務の改善
計画的な投資の実現
安定した医療を国民に提供
医療機関の運営・経営の見える化
- どのメーカーでもデータの共通・統合利用ができる
革新的な医療の創出
標準化は、医療発展のための基盤
- 変革スピードクラウド-AI
データ駆動型医療
世界をリードする
日本の新たな医療の在り方を創生
- ICTの進展と、社会・医療のデジタル変革
拓がる仮想空間により、診療の場とスタイルも変化
国境をも越え日本の医療の世界への展開も

NCGM：美代賢吾先生作成スライドより（一部改）